



グローバル・スタディーズという授業では、自分たちでテーマを決めて、きくらげのような地域の名産品や環境などについて調べているよ。

大学生と交流したり、企業を見学したり、**地域と海外を合わせた広い視点で学習**できるんだ。タイピーエンピロシキのことを外国人にも英語で紹介してみたいな。



地歴・公民科での取り組み (グローバル・スタディーズ)

グローバルとは「グローバル(世界全体)」と「ローカル(地方・田舎)」を掛け合わせた言葉です。

世界全体の視点を持ちながら、地域の課題をどうやって解決していくかを考える授業です。例えば、高齢化・人口減少が進んでいるこの人吉・球磨地域をどうやって持続・発展させていきますか？



熊本大学での発表



熊大生との連携授業



自治体職員の方の講話

英語科での取り組み

英語の授業では、ペアやグループで、考えたり発表したりする取り組みをたくさん行っています。クラス内や校内の発表にとどまらず、英語暗唱大会やスピーチコンテスト、スキットコンテストなどにも出場しています。その取り組みを通して、生徒自身の主体的に学ぶ力を育てています。

右の写真は「異文化理解」という授業の1コマです。生徒がグループを回りながらプレゼンテーションをし(この時は日本語)、みんなと協力して課題を解決していきます[下左の写真]。そしてその学んだ手法は、海外の人たちとコミュニケーションを取り、一緒に課題を考える時に役立ちます。



Student's Voice

在校生の声

地域未来探究科2年
吉本 丈
錦中学校出身



僕は地方公務員になりたいと考えています。球磨中央高校の魅力は、基礎をからゆっくとわかりやすく進む授業です。社会や英語の授業では活動がたくさんあり、楽しみながら学ぶことができます。自分達の地域についても新しく知ることがあり、面白いです。

▶ 目指せる進路

国公立大学・私立大学への進学、看護・医療系学校への進学、公務員(市役所・町村役場など)、地元民間企業への就職など